



Aさん宅内のスチール棚天板ホコリの採取

<まとめ>

今回の調査から言えることをまとめると以下のようになります。

- (1) 今回調査した地域の汚染状況は、事故後5年6ヶ月経過した現在においても極めて高く、一般公衆の被ばく上限の年間1mSvをはるかに上回る。すでに半減期が30年であるセシウム137の影響が中心であり、今後もこの汚染状態は長く続く。
- (2) 空間線量は森林汚染からの影響が大きく、除染は極めて困難である。
- (3) これまでの各地での除染結果から、すでに除染の限界は明らかである。また不十分な効果しかない除染が多量の廃棄物を生み出し、その最終処分地の解決の目処は立っていない。

(3) 帰還困難区域に「復興拠点」を設け、除染によって指定解除を目指す政府の政策は、無意味である。除染に当てる財源は被害者への賠償と生活再建に回すべきである。

(4) 機密性の高い家屋であっても、セシウムをはじめ希ガスや微粒子状の放射性物質が侵入するため、原発過酷事故後の「屋内退避」では内部被ばくを避けられない。

これらの調査データや計算方法など詳しい資料はちくりん舎のHPからダウンロードできます。

<http://ur0.biz/ATMI>

* 1
「帰還困難区域の取り扱いに関する考え方」 (原子力災害対策本部) 資料は <http://ur0.biz/ATGN> をご覧ください。

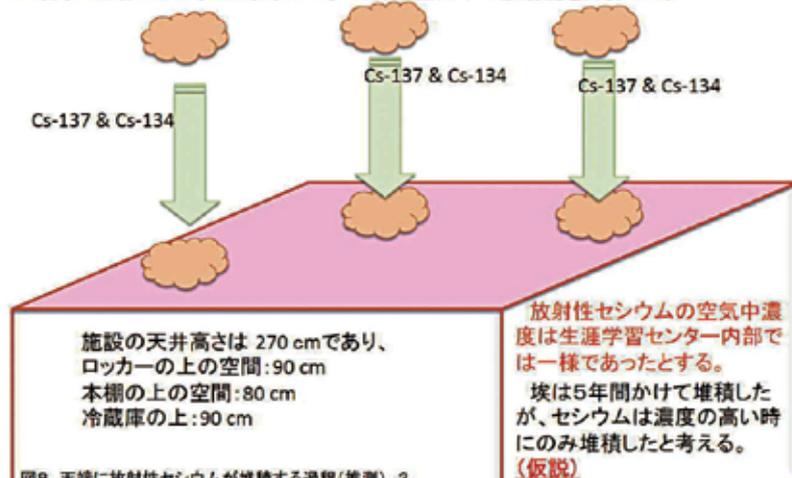
* 2
屋内 0.55 μ Sv/h、屋外 6.0 μ Sv/h で計算。屋外でこれ以上に高いところも点在している。また今回調査できなかった森林内、田畑などは、さらに高い可能性がある。

* 3
天板上から天井までの空間中のセシウムを含むホコリがすべて天板上に堆積したと想定して、天板上の空間容積とホコリのセシウム 134,137 量から事故直後の空気中の放射能濃度を計算した。

* 4
ATOMTICA によると、スミヤ法の拭き取り効率では非浸透性材料で 50%、浸透性材料で 5% となっており、10 倍程度の違いはあり得る。 <http://ur0.biz/ATKE>

太田生涯学習センター室内の放射性セシウムの沈着過程 3

放射性セシウムが室内に侵入した当初から一部は天端に沈着したであろうし、再浮遊・再沈着もあったであろう。ここでは室内の空気中にそれが一様に分布した後比較的短い時間に沈着したと考えた。そしてそのような空気中の放射能を計算した。



天板ホコリから空気中セシウム濃度推定のモデル
2016年11月7日神戸大学大学院山内知也教授
プレゼン資料「ある公的施設内の放射性セシウム
量から見えてくること」より

ちくりん舎の測定結果(抜粋)

土壌

検体名称	採取日時	採取場所	Cs-134 (Bq/Kg)			Cs-137 (Bq/Kg)		
			測定値	誤差範囲	検出限界	測定値	誤差範囲	検出限界
土	2016/11/26	福島県飯館村	3500	490	—	23000	3200	—
土	2016/10/19	福島県双葉郡 *1	6000	850	—	38000	5300	—
土(畑)	2016/12/14	東京都小平市	4.0	0.83	—	27	5.3	—
土(畑)	2016/11/11	神奈川県藤沢市	2.3	0.68	—	18	3.8	—

*1 浪江町帰還困難区域内民家の庭

食品

検体名称	採取日時	採取場所	Cs-134 (Bq/Kg)			Cs-137 (Bq/Kg)		
			測定値	誤差範囲	検出限界	測定値	誤差範囲	検出限界
大豆	2016/11/12	千葉県匝瑳市	不検出	—	0.74	2.0	0.66	—
米(玄米)	2016/11/29	岩手県遠野市	不検出	—	0.11	0.16	0.07	—
米 *2	2016/11/29	岩手県遠野市	不検出	—	0.056	0.075	0.033	—
ヒラメ	2016/10/18	福島県双葉郡 *3	不検出	—	0.50	2.1	0.54	—

*2 上記玄米を精米したもの

*3 福島第一原発沖3kmで採取

その他

検体名称	採取日時	採取場所	Cs-134 (Bq/Kg)			Cs-137 (Bq/Kg)		
			測定値	誤差範囲	検出限界	測定値	誤差範囲	検出限界
松葉	2016/9/11	岩手県一関市 *4	不検出	—	1.2	4.0	1.2	—
枯れ枝 *5	2016/12/15	東京都三鷹市	2.7	0.84	—	14	2.9	—
落ち葉	2016/12/14	東京都小平市	8.6	2.5	—	73	15	—
デニムシャツ *6	2016/10/19	福島県浪江町	140	29	—	800	16	—
綿シャツ *6	2016/10/19	福島県浪江町	5.3	1.5	—	31	6.6	—
灰(ペレット)	2016/7/27	山形県	不検出	—	20	2600	370	—
灰(焚火)	2016/12/15	東京都三鷹市	2.2	0.74	—	51	7.2	—
ティッシュ(ホコリ) *7	2016/11/11	福島県南相馬市	2300	330	—	15000	2200	—
ティッシュ(ホコリ) *7	2016/10/19	福島県浪江町	620	100	—	4000	580	—
尿 6才 男	2016/8/18	東京都世田谷区	不検出	—	0.040	0.11	0.037	—
尿 13才 女	2016/10/13	岩手県平泉町	不検出	—	0.062	0.16	0.053	—
尿 11才 女	2016/8/8	千葉県松戸市	不検出	—	0.051	0.087	0.038	—
尿 11才 女	2016/8/31	千葉県野田市	不検出	—	0.046	0.051	0.024	—
尿 8才 男	2016/12/1	千葉県柏市	不検出	—	0.046	0.096	0.033	—

*4 清掃センターの正門前

*5 サクラ、クヌギ他、子どもたちが拾って遊びそうな枝を採取

*6 事故後、避難により密閉された家屋内で保管してあった衣類

*7 事故後、避難により密閉された家屋内で、タンスの天板上に積もったホコリを採取

コゲラ

名前の通りで小柄なキツツキの仲間です。丘陵地から住宅街まで、比較的よく観察できます。冬の間は、シジュウカラやエナガなどと一緒に混群を作って移動することもあります。

